

愛知県学校食育推進の手引

— 第一次改訂版 —



愛知県教育委員会



はじめに

医食同源とは、日頃からバランスのとれた美味しい食事をとることで病気を予防し、治療しようとする考え方です。古くから中国にある、体によい食材を日常的に食べて健康を保てば、特に薬など必要としないという薬食同源の考えを基にした日本で作られた造語とも言われています。

しかし、近年子どもたちを取り巻く食事環境は、「孤食」「個食」「固食」「粉食」「小食」「濃食」などの六つの「こ食」で起こりがちな栄養バランスの崩れや不規則な食事により、肥満や生活習慣病の低年齢化を招き、食育の必要性が叫ばれるようになっていきます。

平成 31 年 3 月に文部科学省から出された食に関する指導の手引-第二次改訂版-でも食の自己管理能力の必要性が示されています。子どもたちには、栄養や食事のとり方などについて、正しい基礎知識に基づいて自ら判断し、食生活をコントロールする力が必要となっています。この他にも学校におけるアレルギー等の疾患への対応や食育における学校、家庭、地域の連携が求められています。そうした情勢を踏まえ、新しい学習指導要領の改訂の趣旨を取り入れて、この第二次改訂版が出されました。食に関する指導の目標・内容を再整理し、主体的・対話的で深い学びの視点やカリキュラム・マネジメントを重視した形で示されました。

そこで、愛知県版の手引では、愛知県における食育の取組を紹介するとともに、従前の手引を、この文部科学省から出された第二次改訂版の考え方に沿って再構成しました。さらに食に関する指導の全体計画①②を小・中・義務教育学校・特別支援学校の校種別に分けて例示するとともに、新学習指導要領における育成すべき資質・能力の三つの柱ごとに校種別指導事例を掲載しました。栄養教諭の先生方はじめ各学校の給食主任の先生方や食育推進のリーダーシップをとっておられる先生方を中心に、この手引が活用されますことを期待しています。

最後になりましたが、愛知県学校食育推進の手引第一次改訂版作成委員の皆様には、改訂版作成のために誠心誠意お取組いただきましたことにお礼を申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。

令和 4 年 3 月

愛知県教育委員会保健体育課長

岩田 政久

愛知県学校食育推進の手引 - 第一次改訂版 - 目次

はじめに

目次

1 愛知県における学校食育推進の基本的な考え方

(1) 学校における食育の必要性	1
(2) 学校における食育の現状と課題	2
(3) 第4次愛知県食育推進計画	3

2 愛知県の「子ども食育推進事業」

(1) 児童生徒や保護者を対象とした事業	4
(2) 教職員を対象とした主な研修等の実施	5
(3) 栄養教諭の力量向上を図る事業	5
(4) 学校給食と食育の充実を図るその他の取組	7

3 学校における食育の推進

(1) 食に関する指導	8
(2) 食育の推進体制	9
(3) 食育のPDCA	11
(4) 家庭・地域・関係団体との連携の在り方	12
(5) 家庭や地域との連携の進め方	13

4 食に関する指導

(1) 食に関する指導の目標	15
(2) 食に関する指導の内容	18
(3) 食に関する指導の全体計画作成の手順及び内容	18
(4) 食に関する指導の全体計画①②作成の留意点	20
(5) 校種別の全体計画①②例	
・小学校例	26
・中学校例	28
・義務教育学校例	30
・特別支援学校例	32

5 各教科等における実践例について

(1) 実践例を作成するにあたっての留意事項	40
(2) 学習指導案の作成ルール	40
(3) 各教科における実践例の概要	41
(4) 知識・技能を高める実践例	
・ 小学校 第2学年 生活科 「大きくそだてわたしの野さい」	43
・ 特別支援学校 高等部教育課程B 家庭科 「必要な栄養素を満たす食事」	49
・ 中学校 第2学年 技術・家庭科 「地域の食文化」	53
(5) 思考力・判断力・表現力等を高める実践例	
・ 小学校 特別支援学級 第3学年 学級活動 「げんきにおおきくなるたべかたをかんがえよう」	57
・ 小学校 第6学年 体育科 「病気の予防について考えよう」	61
・ 中学校 第1学年 保健体育科 「健康な生活と病気の予防」	66
(6) 学びに向かう力・人間性等を高める実践例	
・ 小学校 第5学年 学級活動 「食べ物を大切にしよう」	70
・ 中学校 第3学年 学級活動 「どうすれば、みんなに優しい食生活ができるだろう」	75

6 個別的な相談指導の進め方

(1) 個別的な相談指導の進め方	80
(2) 校内の体制及び教職員の役割	83
(3) 個別的な相談指導の具体的な方法と流れ	84

7 学校における食育の推進の評価

(1) 評価の基本的な考え方	86
(2) 評価の実施方法	86
(3) 学校評価との関連	87

あとがき	88
------	----